

講習会 静粛設計のための防音・防振技術

第1技術委員会 丸田芳幸 (中央大学)

土肥哲也 (小林理学研究所)

第1技術委員会では、講習会「静粛設計のための防音・防振技術」を開催しました。この講習会は、約10年前から継続的に実施しているもので、今年中央大学の後楽園キャンパスをお借りして2016年6月10日に実施し、31名の方に受講頂きました。

本講習会の企画趣旨は、機械の騒音振動対策に具体的に取り組んでいる研究者・技術者が、防音・防振に関する基本から騒音低減に関する技術の勘所までと、簡単な実験を交えた騒音・振動対策の基本、静粛設計製品の開発方法、最新の吸遮音材料の使い方などについて理解して頂き研究・開発に役立てて頂くことです。今回の参加者の仕事内容を集計しますと、「企業の研究開発・設計業務」に携わっていらっしゃる方が全体の8割を占め、実務における防音・防振技術の関心の高さが伺えました(図参照)。

講習会の題目や内容は、前年度までのアンケート結果を反映させて毎年変更を行っており、今年下記の内容で実施致しました。

- I. 「機械の静粛設計・騒音対策の考え方」
- II. 「防音・防振の基礎理論」
- III. 「簡単な実験による騒音・振動対策の失敗例, 成功例」
- IV. 「事例に基づく振動・騒音の低減方法」
- V. 質問・相談への回答・アドバイス

最後の各講師に対する質疑応答の時間では、予定の時間を大幅に超過するほど活発な質問を頂き、受講者が個々に抱える防音・防振に対する問題の多さを実感致しました。

第1技術委員会では、年2回の講習会を開催しております。今年秋(10月20日)には、騒音振動に関わる実務技術者を対象とする中級講習会「目からうろこ、話題の騒音対策技術」を企画致しますので、奮ってご参加ください。

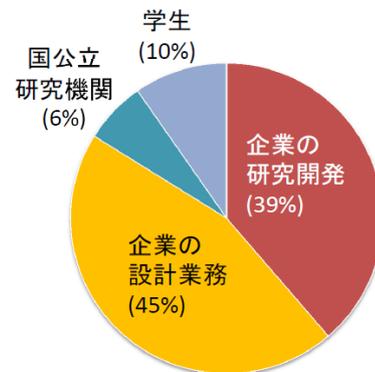


図 講習会参加者の仕事内容 (アンケート結果)